

公益社団法人青森県観光連盟経営状況説明書を地方自治法
第243条の3第2項の規定により提出する。

令和元年9月18日

青森県知事 三 村 申 吾

第1 令和元年度事業計画

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

令和元年度は、観光振興と青森県観光物産館管理運営のため、次の事業を実施するものである。

1 観光振興事業

(1) 開発推進事業

① 観光開発推進事業

増加するインバウンドや国内旅行者に対して、より魅力的な観光コンテンツを提供するため、関係自治体、観光団体、観光事業者等と協同で観光コンテンツの発掘と磨き上げを行っていく。また本県情報に精通したアドバイザー等を活用し、周遊観光を促進するための旅行商品企画を創出し、周遊観光ルートの提案を行っていき、来訪者の増加及び観光消費の拡大による地域振興を図る。

ア 県内観光コンテンツ発掘調査

イ 旅行商品企画の創出

② 宿泊施設魅力向上対策事業

観光客の宿泊利用促進を図るため、アドバイザー等を活用し、魅力向上策の検討及び改善実践を行うほか、魅力向上を図るための普及を行う。

③ テーマ別観光資源魅力向上事業

県内観光資源の魅力向上を図るため、特定のテーマについて県内を周遊する旅行商品等を創出する。

④ 教育旅行誘致事業

本県への教育旅行の誘致を促進するため、教育旅行関係団体・教育旅行エージェント等との連携を図りながら各種事業を重点的に実施する。

ア 教育旅行誘致促進連絡会議の開催

イ 教育旅行促進強化事業（県委託事業）

⑤ コンベンション誘致事業

本県観光産業の振興に効果が高く、本県観光のイメージアップやブランド力の強化にも繋がるコンベンションを誘致するため、本県開催の動機付けとなるコンベンション開催費助成事業を実施するとともに、県内外の大学、団体、企業等への誘致活動を展開する。

ア コンベンション誘致促進連絡会議の開催

イ あおもりMICE誘致活動事業

ウ 大規模MICE開催費助成事業

(2) 情報発信事業

関係機関と連携した県内外イベントへの参画やガイドブックの作成等のPRを行うほか、IT技術等を活用しながらターゲットに合わせた効果的かつ効率的なプロモーション活動を通じた情報発信を展開する。

① 観光キャンペーン推進事業

北海道新幹線開業や青森県・函館デスティネーションキャンペーン（以下「青函DC」）の効果を持続させ、本県を中心とした周遊観光を促進するため、JR東日本や（公社）日本観光振興協会、青森県等と連携し、観光ガイドブックの作成・配布や、首都圏等における各種観光等イベントへの参画を通じて本県観光資源の魅力を全国にPRし、一層の誘客促進を図る。

- ア あおもり紀行キャンペーンスタッフの任命
- イ 観光イベントガイドブックの作成
- ウ リゾート列車の運行にかかる協議会への参画
- エ 広告宣伝の展開等
- オ 観光イベント等への参画
- カ 青森県観光セミナーの開催
- キ 旅行商品造成対策

② 青森県・函館誘客促進プロモーション事業

北海道新幹線開業及び青函DCの効果を継続し、青函周遊観光を定着させるため、JR東日本等と連動したプロモーション活動を実施し、更なる認知度向上と誘客促進を図る。

- ア 青森県・函館観光キャンペーンガイドブックの作成
- イ 青森県・函館観光キャンペーンポスターの作成
- ウ PRイベントの実施・参加
- エ 青函周遊商品販売促進キャラバン等の実施
- オ 博多どんたく港まつりにおけるPR

③ 観光情報ネットワークシステム運営事業

本県を訪れる観光客等が、観光情報をインターネットにより入手できるよう県・市町村等と連携し、青森県観光情報サイト「アプティネット」の運営・管理を行う。

④ キーインフルエンサー獲得事業

生活者・消費者の行動に影響を与えるインフルエンサーによる本県観光情報等の発信活動を強化するため、発信力、到達力、信頼獲得力を備えたキーインフルエンサーの獲得を図る。

(3) インバウンド対策事業

台湾・中国・韓国・香港を中心とした東アジアからの誘致活動を展開するほか、決済機能の充実や受入意識・サービス向上など受入対応力を強化していくことにより、来訪者の満足度向上及び観光消費の拡大に努める。

① あおもりグローバルラウンジ運営事業

来県された国内外の観光客に対し、くつろいでいただきながら、多言語による観光案内・情報発信等サービスを行うことにより、周遊観光を促進するため「あおもりグローバルラウンジ」を運営する。

- ア 多言語（日本語・英語・中国語・韓国語）による、県内全般の観光案内
- イ 人工知能を活用したチャットボットによる多言語観光案内
- ウ SNSを活用した多言語による情報発信
- エ ラウンジにおける飲料提供
- オ 多言語による観光PRパネル展示
- カ 県内周遊旅行商品の販売 等

② 国際観光推進連絡会議の開催

インバウンド誘致など国際観光の推進に係る取組について、情報共有を図るとともに、課題整理・解決に向けた検討を行うため、関係者による連絡会議を開催する。

③ 韓国誘客対策強化事業

青森・ソウル線を利用する韓国からの観光客の誘客促進を図るため、大韓航空、韓国旅行エージェントと連携して誘客宣伝事業等を実施する。

- ア 韓国旅行商品造成手配会社の招請
- イ 新規旅行商品等造成広告支援
- ウ 青森旅行商品利用者を対象としたマーケティング調査
- エ FITエージェント及び大韓航空との共同プロモーション
- オ インセンティブツアー実施団体の招請
- カ インセンティブ商談会への出展PR

④ 「北東北三県・北海道ソウル事務所」運営事業

韓国からの観光客の誘致を推進するため開設した「北東北三県・北海道ソウル事務所」の運営に参画する。

⑤ 韓国現地商談会実施等事業

韓国との経済交流を促進するため、物産商談会への出展PRやバイヤーの招聘により、県産品等の認知度向上及び販路開拓を図る。

- ア 物産商談会への出展PR
- イ 韓国食品関連バイヤーの招聘
- ウ 北東北三県・北海道ソウル事務所と連携した、県内企業のビジネス開拓支援

⑥ 台湾人観光客誘致拡大事業

国内定期便や県外空港を利用して来県する台湾からの観光客の誘客促進を図るため、台湾旅行エージェントと連携して誘客宣伝事業等を実施するとともに、現地で行われる観光イベントに参加し、情報発信を行う。

ア 立体観光促進の支援

イ 台湾でのプロモーション活動（観光博出展、エージェント訪問など）

ウ 台湾での観光博出展に係る調整

⑦ 国際チャーター便誘致促進事業

県内空港発着の国際チャーター便を利用して来県する台湾からの観光客の誘客促進を図るため、台湾旅行エージェントと連携し誘客宣伝事業等を実施する。

ア 青森県内空港に就航する台湾からのチャーター便を活用した旅行商品造成に対する広告支援

イ 青森県内空港での国際チャーター便の出迎え対応

⑧ 台湾定期便誘致促進事業

本県に就航する定期便を利用して来県する台湾からの観光客の誘客促進を図るため、台湾旅行エージェントと連携し誘客宣伝事業等を実施する。

ア 台湾からの定期便を活用した旅行商品造成に対する広告支援

イ 定期便初便の出迎え対応

(4) その他観光振興事業

① マーケティング推進事業

観光振興に係る業務について効率的な実施及び最大限の効果をj得るため実施内容の効果検証や改善に向けた取り組みを継続する等、体系的なマーケティング活動の強化を図る。

② 「もてなしの心」運動推進事業

本県を訪れた観光客を温かくもてなすため、県民及び観光事業者に対して「もてなしの心」の気運醸成を図る。

ア クリーン大作戦の実施

イ 観光ガイド推進連絡会議の開催

ウ 観光ガイド研修の実施

③ 観光案内所連携強化事業

県内観光案内所の連携による観光情報の提供及び観光案内体制の充実強化を図る。

ア 青森県内観光案内所連絡会議の開催

イ 青森県内観光案内所スタッフ現地研修会の開催

④ 人材育成研修事業

地域の魅力を活かしたコンテンツづくりや情報発信力の向上、インバウンド対応力の強化など、本県の観光振興を担う人材の育成と活用を図るため、関係機関と連携しながら研修事業を実施する。

- ⑤ 観光功労者表彰
観光思想の普及による観光振興に向けた意識の高揚や受入体制の整備を図るため、本県の観光振興に顕著な功績が認められる者を表彰する。
- ⑥ 観光振興事業
(公社) 日本観光振興協会が全国的又は重点的に実施する全国広域観光振興事業に対し拠出する。
- ⑦ 広域観光振興事業
 - ア 北東北三県観光立県推進協議会の事業への参画
 - イ 東北観光推進機構の事業への参画
 - ウ イルミネーション及びライトアップ機材の貸出し

2 青森県観光物産館管理運営事業

(1) 観光資源紹介事業

① パノラマ館情報発信事業

平成31年3月15日にリニューアルオープンしたパノラマ館において、本県ならではの自然、歴史、文化等の美しさ、素晴らしさを体感できる新たなデジタル映像を上映し、本県を訪れる外国人旅行者等にエンターテインメント性と臨場感溢れる3D映像と音響を体感いただき、本県の新たな魅力発見と県内周遊の広域化及び再来訪の「きっかけづくり」等、本県の魅力伝達の一層の促進を図る。

② 展望台情報発信事業

13階展望台では地上51メートルから、青森市街はもちろん、下北・津軽などの半島やむつ湾、八甲田山系、岩木山など、360度の眺望を楽しめるが、昨年度に引き続き夜間利用時間の延長等を行い、さらなる魅力アップを図る。

③ 主催イベント展開事業

アスパムの館内外において、県や市町村、観光・物産・産業関連団体、文化施設等と連携し、本県の観光、物産、郷土芸能、文化、食、産業などを紹介する各種イベントを展開する。

特に、昨年これまでの主催イベントの見直しを図り、想定するターゲット別（インバウンド向け・県外客向け・地元向け等）に分類した上で、その客層に向けて、青森ならではの地場産品や地域資源等を活用し、特別な時間や様々な体験、サービスを提供するような「コト消費」を意識した話題性の高いイベントを展開。なお、引続き「クリスマスマーケットinアスパム」を会期延長のうえ開催するほか新規イベントも開催し、より多くの集客を図る。また、イベントは、各時期のお祭りや周辺の各種イベント、JR東日本が実施する大人の休日倶楽部パスとも連動して実施する。

(2) 貸会議室事業

本県の産業振興と雇用促進を図るため、館内の会議室を本県の観光、物産、郷土芸能、産業、文化、食などの振興につながる地域おこし事業の活動の場、若年者の雇用促進のための職業相談や各種セミナー、教育旅行で来館する学校や教育旅行団体の体験学習の会場として貸出する。

(3) 青森県地場セレクト運営事業

県内外からの観光客や外国人観光客に向けて地場産品等を紹介・宣伝し販路拡大とPRを図るとともに、新たに県産酒を店頭で楽しめるブースの新設や多言語による地場産品紹介やスマートフォン決済機能の充実など、利用者の利便性や満足度向上を目指す。

① 地場産品等の販路拡大と商品開発等

こだわりや物語性のある地場産品を紹介・宣伝するほか、新たな地場産品等に対して消費者の反応や改良点などを確認できるテストマーケティングの場を提供する。

② 外国人観光客向けの県産品PR機能の強化

近年来店が増加している外国人観光客向けに、多言語商品案内アプリ「Payke」等を活用した特設コーナーを設置し、商品情報の発信や認知度向上、さらには外国人の嗜好性が高い商品等のマーケティングを実施するほか、中華圏をはじめとするスマートフォン決済システムを導入し、受入体制の整備を行う。

③ 昨年に引き続き、東北芸術工科大学デザイン工学部企画構想学科（山形県、本吉裕之ゼミ）と連携し、東北芸術工科大学の学生が制作POP（Point of purchase・商品紹介シート）を活用しながら、県産品の魅力向上や販売数の増加に向けた取組みを実施する。

④ 新たに酒類販売免許を取得し、インバウンド向けに「ちょい飲み」ブースを設置し、県産酒のPRを行う。

(4) テナント事業

本県の産業振興と雇用促進を図るため、本県の主要な施設であるエネルギー施策のPRのための展示・体験施設と雇用支援の情報提供施設としてのハローワーク関連施設やジョブカフェ等を入居させ、その事業活動の場を提供する。

(5) 市町村ホール等運営事業

① 市町村ホール観光情報発信事業

2階市町村ホールでは、観光PR展示パネル等を一新し、市町村の情報や文化資源・地場産品等の魅力を多言語でPRするほか、外国人観光客に対し、観光コンシェルジュによる観光案内等を行う。

② 郷土芸能等情報発信事業

アスパム1・2階において、県内市町村の郷土芸能や祭り、地場産品や伝統芸能等を映像や展示・実演で紹介する。また、本県を代表する伝統芸能である津軽三味線の無料演奏会や県立郷土館等との連携展を開催するほか、ねぶた祭りの囃子講習会を実施する。

3 収益事業

(1) イベントスペース

イベントホールは、土日祝日の利用が多いことから、平日や閑散期の貸出しの増加に向け、新たな利用者の開拓を行う。また、エントランスや全面リニューアルされた2階青い森ホールや13階展望台など、館内のイベント可能なスペースも認知度を向上させ、利用拡大を図る。

(2) 貸会議室

平成29年12月から実施した、WEB上からの予約申込みや空室状況が確認できるシステムが事務処理の効率化に大きく貢献していることから、利用者アンケート等を実施し、更なる高度化を図るとともに、会議室の利用率向上に向けて、利用の多い業種や新規の職種への営業活動を積極的に行う。

(3) テナント事業

アスパムには、これまで土産品店（5店舗）と飲食店（3店舗）をテナントとして入居させていたが、今年8月には、新たに市内の法人等が新規入居する予定で安定収益の確保に努めている。また、館内テナントとの連携組織である「アスパムしんこう会（テナント会）」において、引き続き、アスパム来訪者の購買意欲や満足度向上のため各種取組を積極的に行う。

(4) 青森県観光物産館駐車場管理等運営事業

アスパムの一般及びバス駐車場は、国内外の旅行客のみならず、会議室利用者やイベント参加者等からの利用も多く、収益の大きな柱になっていることから、一層の売り上げ拡大を図るため、昨年、新たな精算システムの導入等による利便性の向上や、会議室等の営業に合わせ、アスパム駐車場の利便性・優位性についてPRするとともに、近隣のホテル・企業への月極駐車場の営業や、大型バスの営業についても県内・県外関係団体等へPRする。

(5) 旅行業運営事業

観光開発推進事業で開発された観光素材を世の中に出していくため、主催旅行を中心とした旅行商品化を行い、アスパム内「あおもりグローバルラウンジ」等で販売する。

第2 平成30年度事業実績

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

平成30年度の事業実績は、次のとおりである。

1 観光振興事業

(1) 開発推進事業

① 観光開発推進事業

- ア 県内観光コンテンツ発掘調査
- イ 旅行商品企画の創出

② 滞在促進型宿泊施設魅力向上対策事業

- ア 宿泊施設2施設を選定し、宿泊施設魅力向上のため宿泊アドバイザーによるコンサルティング及び指導を行った。
- イ 宿泊施設の魅力向上に係るコンサルティングによる成果発表会を開催し、県内関係事業者への情報共有を実施。

③ 観光資源の魅力向上による周遊促進モデル創出事業

- 県内観光資源の魅力向上と本県誘客・周遊促進を図るため、地域イベントと連携したモデル事例を創出した。

④ 地域食材活用メニュー創出事業

- 観光客の滞在を促進するため、著名シェフ等との連携による地域食材を活かしたメニューを開発し、モデル店舗での導入による観光客の利用促進を図った。

⑤ 教育旅行誘致事業

- 本県への教育旅行の誘致を促進するため、教育旅行関係団体・教育旅行エージェント等との連携を図りながら、以下の各種事業を実施した。

- ア 教育旅行誘致促進連絡会議の開催
- イ 教育旅行促進強化事業(県委託事業)

⑥ コンベンション誘致事業

- 本県観光産業の振興に効果が高く、本県観光のイメージアップにも繋がるコンベンション誘致のため、本県開催の動機付けとなるコンベンション開催費助成事業を実施するとともに、県内外の関係団体、企業等への誘致活動を展開した。

ア コンベンション誘致促進連絡会議の開催

- コンベンション誘致に係る取組について情報共有を図るとともに、課題整理・解決に向けた検討を行うため、関係者による連絡会議を開催した。

- イ あおもりM I C E誘致活動事業
- ウ 大規模M I C E開催費助成事業

(2) 情報発信事業

① 観光キャンペーン推進事業

J R東日本や（公社）日本観光振興協会、青森県等とタイアップし、首都圏等における各種観光イベントや観光物産展等に参画するとともに、マスコットキャラクター「いくべえ」を活用しながら観光PR等を実施した。

また、観光ガイドブック等の作成やリゾート列車の運行に係る協議会への参画等を通じて、本県の観光資源の魅力を全国にPRし、本県への一層の誘客促進を図った。

- ア あおもり紀行キャンペーンスタッフの任命
- イ 観光イベントガイドブックの作成
- ウ 観光イベント等への参画
- エ 観光セミナーの開催
- オ 商品造成対策
- カ リゾート列車等の運行にかかる協議会への参画
- キ 航空路線活用対策

② 青森県・函館誘客促進プロモーション事業

北海道新幹線開業及び青森県・函館DC及びアフターDCの効果を継続し、青函周遊観光を定着させるため、J R東日本や道南地域自治体、県内観光関係団体等と連携したプロモーション活動を実施し、更なる認知度向上と誘客促進を図った。

- ア 青函周遊商品販売促進キャラバン等の実施
- イ プロモーションイベントの実施・参画
首都圏等において、ミニステージ・観光PRコーナーの設置や、観光パンフレットの配布等によるPRを実施した。
- ウ 博多どんたく港まつりにおけるPR

③ 観光情報ネットワークシステム運営事業

本県を訪れる観光客等が、観光情報をインターネットにより入手できるよう、県・市町村等と連携し、青森県観光情報サイト「アプティネット」の運営・管理を行った。

④ キーインフルエンサー獲得事業

生活者・消費者の行動に影響を与えるインフルエンサーによる本県観光情報等の発信活動を強化するため、発信力、到達力、信頼獲得力を備えたキーインフルエンサーの獲得を図った。

(3) インバウンド対策事業

① あおもりグローバルラウンジ運営事業

来県された外国人観光客に対し、くつろいでいただきながら、多言語による観光案内・情報発信等サービスを行うことにより、周遊観光を促進するため「あおもりグローバルラウンジ」を開設した。

- ア 多言語（日本語・英語・中国語・韓国語）による、県内全般の観光案内
- イ 人工知能を活用したチャットボットによる多言語観光案内
- ウ SNSを活用した多言語による情報発信
- エ ラウンジにおける飲料提供
- オ 多言語による観光PRパネル展示
- カ 県内周遊旅行商品の販売

- ② 多言語案内機能端末を活用した体験メニュー・観光案内利用実証事業
外国人観光客の誘客促進及び効率的かつ円滑な周遊促進を図るため、既存の体験メニュー対応や観光ガイド・観光案内業務について、利便性の高い多言語案内アプリや端末等の活用により、インバウンド利用促進に繋がる可能性について実証実験を行った。
- ③ 国際観光推進連絡会議の開催
インバウンド誘致など国際観光の推進に係る取組について、情報共有を図るとともに、課題整理・解決に向けた検討を行うため、関係者による連絡会議を開催した。
- ④ 韓国誘客対策強化事業
青森・ソウル線を利用する韓国からの観光客の誘客促進を図るため、大韓航空、韓国旅行エージェント等と連携して誘客宣伝事業等を実施した。
ア 広告支援金の交付
イ 韓国エージェント等ファムツアー
ウ MICE誘致
エ その他、韓国からの誘致促進に効果的な業務
- ⑤ 北東北三県・北海道ソウル事務所事業
韓国からの観光客の誘致を推進するため開設した「北東北三県・北海道ソウル事務所」の運営に参画した。
- ⑥ 韓国現地商談会等事業
韓国との経済交流を促進するため、北東北三県・北海道の共同事業として、韓国における商談会や韓国バイヤーの招聘等を実施し、バイヤー等に県産品等をPRすることにより、県産品等の認知度向上及び販路開拓を図った。
ア 商談会実施
イ バイヤー招聘業務
ウ ビジネス開拓支援
- ⑦ 台湾人観光客誘致拡大事業
青森県へのチャーター便及び国内定期便を利用して来県する台湾からの観光客の誘客促進を図るため、台湾旅行エージェントと連携して誘客宣伝事業等を実施した。
ア 台湾旅行エージェントへの広告助成金の交付、クーポン券の発行
イ 台湾における青森プロモーション
ウ 台湾からのMICE（企業研修・報奨旅行等）の歓迎対応
- ⑧ チャーター便誘致促進事業
本県への国際チャーター便を利用して来県する台湾からの観光客の誘客促進を図るため、台湾旅行エージェントと連携して誘客宣伝事業等を実施した。
ア 県内空港に就航する台湾からのチャーター便を活用した旅行商品造成に対する広告支援チャーター便を利用し県内に1泊以上宿泊する旅行商品を販売・実施する台湾旅行エージェントに対し、販売促進に係る広告費用を助成した。
イ 台湾からのチャーター便お出迎え・お見送り

(4) その他観光振興事業

① 「もてなしの心」運動推進事業

本県を訪れた観光客を温かくもてなすため、県民及び観光事業者に対して「もてなしの心」の気運醸成を図った。

ア クリーン大作戦の実施

イ 観光ボランティアガイド県大会の開催事業

② 観光案内所連携強化事業

県内各観光案内所の円滑な業務運営と広域観光案内に対応するため、連絡会議を開催した。

③ 観光人材育成等研修事業

地域の魅力を活かしたコンテンツづくりや情報発信力の向上、インバウンド対応力の強化など、本県の観光振興を担う人材の育成と活用を図るための研修事業を実施した。

④ 観光功労者表彰事業

観光振興に向けた意識の高揚や受入体制の整備を図るため、本県の観光振興に顕著な功績が認められる者を表彰者として決定した。

⑤ 観光振興事業

(公社)日本観光振興協会が全国的又は重点的に実施する全国広域観光振興事業に対し拠出した。

⑥ 広域観光振興事業

ア 北東北三県観光立県推進協議会の事業への参画

イ 東北観光推進機構の事業への参画

ウ イルミネーション及びライトアップ機材の貸出し

2 青森県観光物産館管理運営事業

(1) 観光資源紹介事業

アスパム2階青い森ホールの映写設備機器をアナログ方式から最新のデジタル方式へと更新するとともに、本県ならではの自然、歴史、文化等の美しさ、素晴らしさを体感できる新たな映像を制作・上映し、本県の新たな魅力発見と県内周遊の広域化及び再来訪の「きっかけづくり」等、本県の魅力伝達の一層の促進を図った。

また、13階展望台では地上51メートルから、下北・津軽などの半島やむつ湾、八甲田山系、岩木山など、四季折々の360度の景観を俯瞰させ、コンシェルジュの説明等により、各種観光情報を紹介した。

また、季節ごとの館内装飾の実施季節感を表す装飾を館内に展示した。

(2) 主な主催イベント

① 2018アスパム春まつり

春まつりでは、アスパムの「新たな魅力」を伝えることを目的として、コンセプトを「新」とし、テナントと連携して、地場産品の新商品の紹介やねぶたをモチーフとした「ねぶた焼き」のデビューなど、コンセプトに沿った展開を行ったほか、青森明の星高等学校音楽部による演奏会やご当地グルメ屋台村、クラフト体験コーナー、お楽しみ抽選会などを実施した。

なお、例年4月下旬から5月上旬までの9日間程度開催していたが見直しにより5月のみとしたもの。

② あおもり肉`（にぐ）ふえす（新規）

昨年度まで開催していた「たまごかけご飯」イベントから一新し「あおもり肉`フェス」を開催した。ターゲットを「大人の休日倶楽部」で来青したお客様に設定し、青森県産食肉のPRや販売、青森県の肉文化等の紹介を行った。青森の馬文化の紹介では、パネル展示や、八幡馬をより知っていただくためワークショップ（製作体験）を行った。

「肉のつけ丼」については、県産米の青天の霹靂を使用し、10種類（牛、鶏、豚、馬等）の具材をのせ、お客様の様々な肉を楽しんでいただいた。

お楽しみ抽選会は、抽選で県産品が当たる抽選会を応募形式で実施した。

③ 2018アスパム夏まつり

青森県の地場産品を一堂に集めた大物産展（63業者出展）を開催したほか、昨年に引き続きアスパム朝マルシェ等の企画や「アスパム・あおもりねぶたまつり写生コンクール」を開催した。また、アスパム館内での花火大会特別観覧を旅行商品として初めて販売し、105名の参加があった。

④ アスパムお盆まつり（新規）

お盆の時期に帰省するお客様に対して県産品を広く紹介するとともに、「涼」をテーマにご当地カップアイス40種類、地サイダー14種類、さらには昔懐かしいディップインドツツアイスの販売など、アスパムの「新たな魅力」を伝え、アスパムへの集客や販売促進を図った。

⑤ アスパム秋まつり

「青天の霹靂」の新米を7種類の卵で楽しめる「たまごかけご飯」、3種類のカレーライスの提供や、14のクラフトブースも出店、青森県養鶏協会及び養豚協会によるパワーちゃんこ汁やたまごの廉価販売を実施した。

⑥ 2018青森県市町村まつりinアスパムあおもり「りんご大祭典」

「りんご」をメインテーマとして、県内市町村地場産品を紹介。旬のりんご14種類の即売会や購入したりんごをその場で生絞りジュースにする企画が好評だった。

⑦ CHRISTMAS MARKET in アスパム（新規）

本県と親和性の高い食材利用によるメニュー提供など「青森ならではの」のクリスマスを提案することにより、冬の中核イベントの実現による誘客効果を通じた域外交流・本県経済の活性化を目的に新規開催。10mのもみの木のクリスマスツリーやグッズ販売、ソーセージ等の販売のほか期間中、音楽イベントも開催し、高校生による吹奏楽フラッシュモブやドイツ人アコーディオン演奏など人気を博した。

⑧ アスパムお正月イベント

「初日の出を見よう!!」という企画で13階展望台の早朝営業を新規で開催。

そのほか館内お土産店を始めとした福袋企画の開催や津軽凧絵体験、樹氷のオブジェを展示した。

⑨ アスパム冬まつり（パート1 & パート2）

イベントを2週に分けて実施した。パート1では、あおもり寒の味覚フェアと題し、中泊町と共同で開催。県内の地酒試飲販売や丼・鍋の販売を行った。

パート2では、クラフトなどが人気の「A-Line」を誘致し、冬のA-Lineと題して開催し好評を博した。

(3) 貸会議室事業

館内の会議室を本県の観光、物産、郷土芸能、産業、文化、食などの振興につながる地域おこし事業の活動の場、若年者の雇用促進のための職業相談や各種セミナー、教育旅行で来館する学校や教育旅行団体の体験学習の会場として貸出しし、本県観光及び産業の振興に寄与した。

(4) 青森県地場セレクト運営事業

県内外からの来館者に対し、青森ならではのこだわりやストーリー性のある地場産品を紹介・宣伝し、販路拡大と産品PRを図るとともに、消費者の反応や改良点を生産者にフィードバックし、今後の商品開発に向けた情報提供を行った。

また、インバウンド向けの受入体制の強化として、多言語商品紹介アプリ「Payke」や中華圏向けスマートフォン決済アプリである「Alipay」「WeChatpay」を導入し、利便性の向上を図ったほか、日本人向けのスマートフォン決済システム「オリガミペイ」を導入した。

さらに、生産者の販路拡大と商品化へのアドバイスを行うため、中南地域県民局と連携し、生産者向けセミナーを実施した。

(5) テナント事業

本県の主要な施設であるエネルギー施策のPRのための展示・体験施設と雇用支援の情報提供施設としてのハローワーク関連施設やジョブカフェ等の事業活動の場を提供することにより、本県の産業振興と雇用促進を図った。

(6) PRホール運営事業

本県の観光と産業の振興を図るため、アスパム1・2階において、県内市町村の郷土芸能や祭り、地場産品や伝統芸能等を映像や展示・実演で紹介したほか、市町村の情報や文化資源・地場産品等の魅力をPRする市町村ホール等を運営した。また、本県を代表する伝統芸能である津軽三味線の無料演奏会や県立郷土館等との連携展を開催した。

3 収益事業

(1) イベントスペース・貸会議室事業

アスパム館内のイベントスペース及び会議室を各種会議や催事会場として貸出した。なお、会議室については、導入したインターネット予約システムの利便性向上のためのカスタマイズを行ったほか精算・請求業務の効率化を図った。

(2) テナント事業

青森県産にこだわった特色ある土産品店（5店舗）と飲食店（3店舗）において、青森県の物産と食の魅力を提供し連携事業を実施したほか、市内の団体1社に事務所スペースの貸出しを新たに行った。

(3) 青森県観光物産館駐車場管理等運営事業

青森県観光物産館アスパム来館者等の利便性向上を図るため一般駐車場及び観光バス駐車場を管理・運営した。

また、駐車場収入増のため、月極駐車場のスペースを拡張し、近隣のホテル・企業への月極駐車場や大型バス駐車場の夜間一泊営業等を県内・県外関係団体等へPRした。

特に新規オープンした近隣ホテルの月極駐車及び1泊駐車契約や不動産会社との月極駐車場の委託契約を締結する等、駐車台数の増加対策を図った。

(4) 旅行業運営事業

あおりグローバルラウンジで販売する商品として以下の商品を造成、販売している。今後、青森県観光連盟らしい体験プランの造成を進めていき、県内観光振興に寄与していく。

◆タクシー周遊観光プラン（計35プラン）

◆体験プラン（手配旅行含む・計4プラン）

第3 平成30年度決算報告書

1 貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会 計	法人会計	内部取引 消 去	合 計
I 資産の部					
1 流動資産					
現金預金	42,380,237	54,743,661	872,076	0	97,995,974
未収会費	0	0	0	0	0
未収金	21,661,743	4,331,287	0	0	25,993,030
前払金	692,424	0	0	0	692,424
立替金	1,108,752	0	0	0	1,108,752
棚卸資産	2,815,713	153,548	0	0	2,969,261
他会計へ振替	2,897,409	149,506,302	0	△152,403,711	0
流動資産合計	71,556,278	208,734,798	872,076	△152,403,711	128,759,441
2 固定資産					
(1)特定資産					
退職給付引当資産	44,072,484	14,693,973	344,302	0	59,110,759
出資金引当資産	20,500,000	0	0	0	20,500,000
活性化積立引当資産	2,075,750	585,475	0	0	2,661,225
預り保証金引当資産	0	16,996,000	0	0	16,996,000
特定資産合計	66,648,234	32,275,448	344,302	0	99,267,984
(2)その他固定資産					
展示物	58,077,853	23,264,628	60,531	0	81,403,012
什器備品	132,438,886	2,289,255	25,478	0	134,753,619
投資有価証券	0	1,500,000	0	0	1,500,000
保証金	0	2,400,000	0	0	2,400,000
出資金引当資産	0	100,000	0	0	100,000
その他固定資産合計	190,516,739	29,553,883	86,009	0	220,156,631
固定資産合計	257,164,973	61,829,331	430,311	0	319,424,615
資産合計	328,721,251	270,564,129	1,302,387	△152,403,711	448,184,056
II 負債の部					
1 流動負債					
未払金	38,907,387	805,064	3,974	0	39,716,425
前受金	0	4,320,888	0	0	4,320,888
預り金	1,554,372	0	0	0	1,554,372
仮受金	62,754	138,042	0	0	200,796
賞与引当金	3,695,752	1,489,174	95,264	0	5,280,190
他会計から振替	148,011,008	3,538,561	854,142	△152,403,711	0
流動負債合計	192,231,273	10,291,729	953,380	△152,403,711	51,072,671
2 固定負債					
退職給付引当金	44,072,484	14,693,973	344,302	0	59,110,759
預り保証金	0	16,996,000	0	0	16,996,000
固定負債合計	44,072,484	31,689,973	344,302	0	76,106,759
負債合計	236,303,757	41,981,702	1,297,682	△152,403,711	127,179,430
III 正味財産の部					
1 指定正味財産					
地方公共団体補助金等	166,465,749	0	0	0	166,465,749
指定正味財産合計	166,465,749	0	0	0	166,465,749
(うち特定資産への充当額)	(20,500,000)	(0)	(0)	(0)	(20,500,000)
2 一般正味財産	△74,048,255	228,582,427	4,705	0	154,538,877
(うち特定資産への充当額)	(2,075,750)	(585,475)	(0)	(0)	(2,661,225)
正味財産合計	92,417,494	228,582,427	4,705	0	321,004,626
負債及び正味財産合計	328,721,251	270,564,129	1,302,387	△152,403,711	448,184,056

2 正味財産増減計算書
(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計		
	観 光 振 興 事 業	青 森 県 観 光 物 産 館 管 理 運 営 事 業	共 通
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	0	0	2,044
受取事業収益	42,457,500	0	0
観光振興事業	63,833,086	129,930,530	0
青森県観光物産館	63,833,086	0	0
管理運営事業	0	129,930,530	0
青森県観光物産館イベント	0	0	0
スペース・貸会議室事業	0	0	0
青森県観光物産館	0	0	0
テナント賃貸事業	0	0	0
青森県観光物産館	0	0	0
駐車場管理運営事業	0	0	0
旅行業運営事業	0	0	0
受取補助金	22,692,258	9,120,441	0
受取補助金	770,000	0	1,552,544
雑収益	25,322	81,639	288,921
(2) 経常費用	129,778,166	139,132,610	1,843,509
(1) 経常外収益	171,883,643	194,272,767	24,683,837
(2) 経常外費用	0	0	0
経常費用	171,883,643	194,272,767	24,683,837
当期経常増減額	△42,105,477	△55,140,157	△22,840,328
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	5,375,161	0
経常外費用	0	5,375,161	0
当期経常外増減額	0	△5,375,161	0
他会計振替額	0	0	86,088,168
当期一般正味財産増減額	△42,105,477	△60,515,318	63,247,840
一般正味財産期首残高	△49,596,707	△181,386,119	368,483,862
一般正味財産期末残高	△91,702,184	△241,901,437	431,731,702
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	145,965,749	0
指定正味財産期首残高	0	0	20,500,000
指定正味財産期末残高	0	145,965,749	20,500,000
III 正味財産期末残高	△91,702,184	△95,935,688	452,231,702

(注) 重要な非損益取引

1 公益目的事業会計	
特定資産取崩収入	
活性化積立引当資産取崩収入	19,130,160円
固定資産取得支出	
展示物購入支出	38,937,563円
什器備品購入支出	128,741,757円
2 収益事業等会計	
特定資産取崩収入	
活性化積立引当資産取崩収入	2,300,000円
固定資産取得支出	
展示物購入支出	771,660円
保証金支出	2,400,000円
出資金支出	100,000円

(単位 円)

小 計	収 益 事 業 等 会 計			
	青森県観光物産館 イベントスペース・ 貸会議室事業	青森県観光物産館 テナント賃貸事業	青森県観光物産館 駐車場管理運 営事業	旅行業運営事業
2,044	0	0	0	0
42,457,500	0	0	0	0
193,763,616	58,324,976	107,845,227	53,273,396	1,507,282
63,833,086	0	0	0	0
129,930,530	0	0	0	0
0	58,324,976	0	0	0
0	0	107,845,227	0	0
0	0	0	53,273,396	0
0	0	0	0	1,507,282
31,812,699	815,464	598,366	706,915	488,919
2,322,544	0	0	0	0
395,882	0	750,000	0	0
270,754,285	59,140,440	109,193,593	53,980,311	1,996,201
390,840,247	40,742,435	37,455,052	24,459,065	7,981,158
0	0	0	0	0
390,840,247	40,742,435	37,455,052	24,459,065	7,981,158
△120,085,962	18,398,005	71,738,541	29,521,246	△5,984,957
0	0	0	0	0
5,375,161	0	0	0	0
5,375,161	0	0	0	0
△5,375,161	0	0	0	0
86,088,168	0	0	0	0
△39,372,955	18,398,005	71,738,541	29,521,246	△5,984,957
137,501,036	39,199,805	198,125,808	64,214,464	0
98,128,081	57,597,810	269,864,349	93,735,710	△5,984,957
145,965,749	0	0	0	0
20,500,000	0	0	0	0
166,465,749	0	0	0	0
264,593,830	57,597,810	269,864,349	93,735,710	△5,984,957

科 目	収 益 事 業 等 会 計		法 人 会 計
	共 通	小 計	
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	0	0	0
受取事業収益	744,704	221,695,585	7,492,500
観光振興事業	0	0	0
青森県観光物産館	744,704	744,704	0
管理運営事業			
青森県観光物産館イベント	0	58,324,976	0
スペース・貸会議室事業			
青森県観光物産館テナント賃貸事業	0	107,845,227	0
青森県観光物産館	0	53,273,396	0
駐車場管理運営事業			
旅行業運営事業	0	1,507,282	0
受取補助金	0	2,609,664	1,029,314
受取負担金	0	0	0
雑収益	194,317	944,317	0
経常収益計	939,021	225,249,566	8,521,814
(2) 経常費用			
事業費用	26,335,245	136,972,955	0
管理費用	0	0	8,518,852
経常費用計	26,335,245	136,972,955	8,518,852
当期経常増減額	△25,396,224	88,276,611	2,962
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	△86,088,168	△86,088,168	0
当期一般正味財産増減額	△111,484,392	2,188,443	2,962
一般正味財産期首残高	△247,322,429	54,217,648	1,743
一般正味財産期末残高	△358,806,821	56,406,091	4,705
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	△358,806,821	56,406,091	4,705

(単位 円)

内部取引消去	合 計
0	2,044
0	49,950,000
0	415,459,201
0	63,833,086
0	130,675,234
0	58,324,976
0	107,845,227
0	53,273,396
0	1,507,282
0	35,451,677
0	2,322,544
0	1,340,199
0	504,525,665
0	527,813,202
0	8,518,852
0	536,332,054
0	△31,806,389
0	0
0	5,375,161
0	5,375,161
0	△5,375,161
0	0
0	△37,181,550
0	191,720,427
0	154,538,877
0	145,965,749
0	20,500,000
0	166,465,749
0	321,004,626

3 財 産 目 録
(平成31年 3月31日現在)

(単位 円)

貸借対照表科目		金 額
(流動資産)		
	現金預金	97,995,974
	未収金	25,993,030
	前払金	692,424
	立替金	1,108,752
	棚卸資産	2,969,261
流動資産合計		128,759,441
(固定資産)		
特定資産		
	退職給付引当資産	59,110,759
	出資金引当預金	20,500,000
	活性化積立資産	2,661,225
	預り保証金引当資産	16,996,000
		99,267,984
その他固定資産		
	展示物	81,403,012
	什器備品	134,753,619
	投資有価証券	1,500,000
	保証金	2,400,000
	出資金	100,000
		220,156,631
固定資産合計		319,424,615
資 産 合 計		448,184,056
(流動負債)		
	未払金	39,716,425
	前受金	4,320,888
	預り金	1,554,372
	仮受金	200,796
	賞与引当金	5,280,190
流動負債合計		51,072,671
(固定負債)		
	退職給付引当金	59,110,759
	預り保証金	16,996,000
固定負債合計		76,106,759
負 債 合 計		127,179,430
正 味 財 産		321,004,626

4 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有、関連会社以外の有価証券・・・移動平均法に基づく原価法によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法に基づく原価法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産
展示物及び什器備品・・・定額法によっている。
- (4) 引当金の計上基準
賞与引当金・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
退職給付引当金・・・職員の退職給付の支給に備えるため、自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。
- (6) リース取引の処理方法
リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位 円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特 定 資 産				
退職給付引当資産	56,248,705	2,862,054	0	59,110,759
出資金引当預金	20,500,000	0	0	20,500,000
活性化積立引当資産	24,091,385	0	21,430,160	2,661,225
預り保証金引当資産	16,996,000	0	0	16,996,000
合 計	117,836,090	2,862,054	21,430,160	99,267,984

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位 円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特 定 資 産				
退職給付引当資産	59,110,759	(0)	(0)	(59,110,759)
出資金引当預金	20,500,000	(20,500,000)	(0)	(0)
活性化積立引当資産	2,661,225	(0)	(2,661,225)	(0)
預り保証金引当資産	16,996,000	(0)	(0)	(16,996,000)
合 計	99,267,984	(20,500,000)	(2,661,225)	(76,106,759)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位 円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
展 示 物	623,749,430	542,346,418	81,403,012
じゅう 什 器 備 品	317,362,088	182,608,469	134,753,619
合 計	941,111,518	724,954,887	216,156,631

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位 円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残 高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	貸借対照表上 の記載区分
訪日外国人旅行客 周遊促進事業費補 助金	観光庁	0	4,548,426	4,548,426	0	-
あおもりMICE 誘致活動事業補助 金	青森県	0	800,000	800,000	0	-
あおもり大規模M ICE開催費助成 事業補助金	青森県	0	11,900,000	11,900,000	0	-
「もてなしの心」 運動推進事業補助 金	青森県	0	320,000	320,000	0	-
観光事業振興費補 助金	青森県	0	910,000	910,000	0	-
青森県観光連盟運 営費補助金	青森県	0	8,971,000	8,971,000	0	-
青森県インバウン ド受入拠点体制構 築事業費補助金	青森県	0	147,737,000	1,771,251	145,965,749	指定正味財産
青森県観光物産館 アスパム内市町村 ホール管理運営費 補助金	(公財) 青森 県市町村振興 協会	0	4,500,000	4,500,000	0	-
むつ小川原・産業 振興プロジェクト 支援助成金	(公財) むつ 小川原・産業 振興財団	0	1,731,000	1,731,000	0	-
合 計		0	181,417,426	35,451,677	145,965,749	

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位 円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	1,771,251
合 計	1,771,251

7 その他

(1) 退職給付関係

① 採用している退職給付制度の概要

中退共制度と退職給付引当金を併存している。

② 退職給付会計の計算の基礎に関する事項

退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

(2) 特定資産

① 活性化積立引当資産

青森県観光物産館管理運営における活性化策に備え計上している。

(5) 附 属 明 細 書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記に記載しているため省略している。

2 引当金の明細

引当金の明細については、次のとおりである。

(単位 円)

科 目	期 首 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額		期 末 残 高
			目 的 使 用	そ の 他	
賞与引当金	4,730,649	5,280,190	4,730,649	0	5,280,190
退職給付引当金	56,248,705	2,862,054	0	0	59,110,759